

アンケートの実施結果について

令和3年4月20日に移管先法人である、「学校法人白藤学園」の法人紹介資料と併せて配布しました。大宮保育園の民間移管に関するアンケートについて回答を取りまとめましたので配布いたします。

● 大宮保育園の民間移管に関するアンケートの回答について

(1) 保育内容に関することで聞きたいことがあれば教えてください。

(ア) 園の保育内容に対する考え方

- ・市の方からは、「公立の良さを引き継ぐ」と説明を聞いていましたが、本当に今までのようなのびのびとした保育内容を実施してくれるのでしょうか。
- ・勉強よりあそび中心、あそびから学んでほしいと思っていますが、どのような保育内容でしょうか。
- ・現在の大宮保育園の保育内容や方針（カリキュラム等）がどこまで引き継がれて、どのように変わるのか具体的に教えてください。
- ・保育内容で特に力を入れようとされている活動はありますか。
- ・英語や体操、音楽などの習い事などは取り入れられるのでしょうか。
- ・希望者に体操やその他の活動を別料金で取り入れて欲しい。

A1 (法人) ・奈良市立保育園・幼稚園・認定こども園で統一されたカリキュラム「バンビーノプラン」を基本とした教育・保育を実施するため、大宮保育園の保育内容と大きく変わる事はございません。

・子どもたちは、環境を通して、試したり、見立てたり、友達と協力したりしながら遊びを深めていきます。就学前の教育・保育は、学校につながる学びの基礎をつくり、園での「わくわくする」遊びの楽しさが子どもたちの意欲や考える力を育てていきます。それは、自分への自信となり、自立心、生きる力を培っていくと考えております。

- ・保育内容で力を入れていきたいところについて
 - ◇からだを育てる — 外遊び、散歩、室内でのリズム遊び「うごき」等を通して
 - ・怪我をしない体（体幹、バランス力）を育てる
 - ・体を使って遊ぶことの楽しさを身につける
 - ◇表現力を育てる — 自分の思いを伝える、相手の気持ちを受入れる等（言語、造形、音楽等）

・保育の中で講師等をお招きして、お子様が目を輝かせて遊ぶことのできるヒントとなる機会を持っていきたいと考えておりますが、内容等につきましては、保護者の皆様のご意見を伺いながら、検討してまいりたいと思っております。当法人内での校種を越えた連携と共に、当法人の施設を使いながら保育の幅を広げていきたいと考えております。

(イ) 給食に関しての考え方

- ・おやつは手作りのもの若しくは出来合いのものでしょうか。
- ・食育の考え方について教えてください。
- ・使用する食材（産地、無農薬など）はどうなりますか。
- ・これまで通り白米も園で用意していただけるのでしょうか。
- ・給食の質はどんなのでしょうか。お弁当はやめてほしいです。
- ・献立はどの様に考える予定ですか。
- ・現状の方針と今後の方針がどの様に変わるのか具体的に教えてください。

A2 (法人) ・給食につきましては、おやつを含めて、引き続き、自園において手作りのものを提供してまいります。給食が楽しみになる、食事を話題にできる食文化を育てていきたいと思っております。

・食材は、旬の野菜を使い、白米を含めて国産が中心で、安心、安全なものを提供いたします。

・行事の際には、テーマに合わせた盛り付けをいたします。

・できる限り一人一人に応じたアレルギー対応をいたします。

・食育の一環として、4、5歳児を中心に、食材について学ぶ機会を持たせていただきます。調理員さんも、食にかかわる取り組みに参加していただきます。給食だよりや食育だよりも発行させていただきます。

(ウ) 行事に関する考え方

- ・行事の考え方について、現在実施している行事は今後も継続していく予定でしょうか。
- ・移管前後で行事がどのように変わるのか、どういった行事を行う予定か等も教えてください。
- ・親が参加する行事は増えるのでしょうか。

A3 (法人) ・行事につきましては、これまでの行事をふまえ、感染症対策をしっかりと行いながら、行事当日だけではなく、お子様とともに作り上げる過程を楽しみ、お子様の楽しい思い出となる様に進めてまいります。

・保護者様の行事へのご参加につきましては、ご負担を考慮させていただきたいと思っております。

(エ) 外遊び（園庭等）についての考え方

- ・散歩や園庭あそびは保障されますか。
- ・外遊びの考え方などどもの様になるのか具体的に教えてください。
- ・外遊びは1日あたりどの程度の時間実施する予定でしょうか。

A4 (法人) ・外遊びや散歩等を通して自然の中で季節を感じ、全身を使って遊ぶ経験は、子どもたちの五感を育てるものとして、とても大事なことで捉えております。現在、大宮保育園では、園庭やリズム室を年齢ごとに時間を決めて使用しております。移管後も、大宮保育園に準じて、しっかりと外遊び等の時間を設けていきたいと考えております。

(オ) 支援の必要な園児に関する考え方

- ・支援の必要な園児を他の子どもたちと引き離すようなことはして欲しくありません。
- ・”インクルーシブ”についてどう思われているのか教えてください。
- ・現状の方針と今後の方針との違いについて、どの様になるのか具体的に教えて欲しい。
- ・支援の必要な園児に関する考え方を教えてください。
(就学前の大事な時期なので、できるだけ一人一人にあった考え方が必要なのかなと思います)
- ・気軽に相談できる時間やスペースがあれば嬉しい。

A5 (法人) ・「共に生きる」=インクルーシブ教育は、すべてのお子様にとって必要であり、なおかつ大切なものと考えております。お互いにかげがない存在として「この園」で出会い、自分も友達も、お互いに生か合っているような「仲間づくり」を進めてまいりたいと思います。そして、お子様一人ひとりの状況や思いに立ちながら、園生活の中での困り感が、より軽減され、過ごしやすくなるための環境や方策等をお子様、保護者様と一緒に考えてまいりたいと思います。

・定期的に、日常の保育の様子を園からお伝えしながら、どの保護者様にもお気軽に相談していただけるような環境を作りたいと考えています。

(カ) その他

- ・移管前後の実費負担の差を明瞭簡潔に保護者の皆様に伝えて欲しいです。
- ・園のホームページで園での生活や保育内容等を載せて欲しいです。
- ・移管後すぐの年長さん、軌道にもものらないまま過ぎて思い出も何もないような年になるのだけはやめて下さい。

A6 (法人) ・移管後は、3,4,5歳児の「給食費」を毎月定額（月～金で7,000円 土曜日別途200円/日）で徴収させていただきたいと考えております。給食は、毎日違う献立で提供いたします。季節や行事に合わせて旬の食材を使ったり、行事に合わせて盛り付け方を工夫したりする等、見た目にも楽しい給食を提供いたします。また、調理員さん達に協力をいただきながら、食事の基本(マナー)、食材を知る、食材に触れる、作る(クッキング)等の食育等に取り組んでまいります。行事食、クッキング等につきましては、毎月の定額料金の中でさせていただきます。

・保育教材の充実が、子ども達の創作意欲を掻き立てたり、素材によって触発される感性や発想が豊かな表現を生み出すこと等から、「教材費」月額600円を徴収させていただきたいと考えております。(2～5歳児)

・絵画や造形活動等の時に、汚れを気にせず活動することができる「スモック」着用を導入させていただきたいと考えております。手作り等で、ご家庭でご用意していただいても結構です。

・園での生活や保育内容等は、引き続きホームページ等でお知らせしてまいります。

(2) 園運営に関することで聞きたいことがあれば教えてください。

(ア) 保育士の配置についての考え方

- ・現在の先生は全員いなくなるのでしょうか。数名でも残られるのでしょうか。
- ・今のように担任の先生でなくても子どもの事を理解してくれるのでしょうか。
- ・令和4年から今までお世話になった先生方が一斉に変わると子どもも不安だと思いますので、できる限り今の先生方や部屋の雰囲気（おもちゃなど）をそのままにするなど、配慮いただきたいです。
- ・支援の必要な園児に対し、加配の先生は配置されるのでしょうか。
- ・各クラスや事務所の先生の配置人数はどのようになるのでしょうか。ぎりぎりの職員配置ではなく、現在の先生配置より少なくならないようにしていただきたいです。
- ・非正規の先生が多くなると不安ですが、逆に正規の先生が変わることなくずっと同じ方というのも不安に思います。現在運営している幼稚園との人事交流などはどのように考えていますか。
- ・朝や夕方の園児がひとつの教室に集まるときに、保育士が少なく目が行き届いていないので改善してほしい。

A7 ・先生たちにはできるだけお残りいただき、スムーズな移行につなげてまいりたいと考えております。

(法人) ・新体制における部屋づくりも引継ぎ期間（令和4年1月から）に徐々に準備してまいります。

- ・職員数は、現在と同じく、園児の年齢に応じた配置を基本と考えております。支援の必要なお子様につきましても、考慮した保育士の配置を検討してまいります。
- ・自分のクラスだけではなく、どのクラスからも挨拶やお声をかけさせていただけるような保育士の連携や体制づくりをしてまいります。
- ・現時点で幼稚園との人事交流は考えておりません。職員研修は一緒に進めてまいりたいと思っております。

(イ) 制服や体操服など保護者負担についての考え方

- ・保護者の実費負担を増やすことはして欲しくないですが、現在より保護者の負担は増えるのでしょうか。実費負担について具体的にどう考えておられるのでしょうか。
- ・体操服や制服の導入などは考えていますか。移管年度が最後の年の方もいるため、新たに買うものは免除してほしいです。もし導入される場合は、購入する購入しないの選択肢があっても良いのではないのでしょうか。
- ・保護者の負担（制服だけでなく、布団やオムツ、給食費など）も民間になればあがるのでしょうか。
- ・体操服を取り入れて欲しい。

A8 ・制服は導入いたしません。幼児（3歳以上児）につきましては、登園時や行事（遠足、運動会、発表会等）に着用する服として、白ボロシャツ（基本 白無地）と半ズボン（基準色 紺色）を考えております。毎朝、同じ服を着て登園することが「園に行く」というお子様の気持ちを切り替え、それが「園で遊ぼう」という意欲につながるものと考えております。メーカーは問いません。着替えにつきましては、今まで通り、ご家庭から自由なものをご持参いただければと思っております。当面の間は導入の準備期間とし、令和6年度からは、幼児の皆様全員に導入させていただきたいと考えております。

・布団につきましては、コットベッドを引き続き使用いたします。

・オムツにつきましては、使い捨てオムツの申し込み（サブスク）も引き続きご利用いただけます。

(ウ) セキュリティについての考え方

- ・門の開閉が誰にでも可能であり、セキュリティが甘いように感じるため、インターホンで施錠等何か変更はされますか。
- ・セキュリティプラス連絡事項等がLINEやメール等で対応できるのか。
- ・入口のセキュリティを強化してほしい。

A9 ・お子様の安全を第一に考え、必要なセキュリティは現在検討させていただいております。

(法人)

(エ) 開園時間や延長保育等についての考え方

- ・開園時間は変更しないでほしい（短くしない）。
- ・延長保育の負担も変更しないで欲しい（申請方法について（月極等））。
- ・延長保育料とその時間について、今と同じ時間での利用は可能か。
- ・延長保育時間を延ばして欲しい（特に土曜日の開園時間）

A10 ・平日の開園時間、延長料金に変更はございません。
(法人) 但し、土曜日の開園時間のみ延長し、7:30～18:30とさせていただきます。

(オ) 保護者会についての考え方

- ・保育士、保護者それぞれを尊重してもらえないのか不安です。保護者会の存在の是非については賛否があると理解していますが、保護者会の存続についてはどう考えておられるのでしょうか。
- ・極力保護者会の活動は無くして欲しい。
- ・共働き家庭ばかりの中で負担が大きいため、保護者会を無くして欲しい。

A11 ・園は、保護者と共にお子様の幸せのために知恵を出し合い、共に保育をつくっていきたいと願っております。しかしながら、保護者会は保護者様の組織でありますので、その存続は、保護者会の決定を尊重したいと思っております。
(法人)

(カ) 地域との繋がりについての考え方

- ・地域とのつながりについての考え方を教えてください。

A12 ・経験豊かな地域の方々いろいろな事を教えていただいたり、見守っていただける機会を持つことは大事な事と思っております。お子様達のことを気かけ、受け入れてくれる大人の存在があることは、大人に対するあこがれや尊敬の気持ちを育てます。そして、このことが将来この大宮の地で育つ後継者を育てることになると考えております。地域への感謝を持ちながら保育に取り組んでまいります。
(法人)

(キ) 施設整備についての考え方

- ・補修工事はいつから入りいつ終わるのか？卒園時期壁がブルーシートで覆われているという状態は困ります。
- ・施設整備についての考え方を教えてください。

A13 ・施設整備は検討中ではありますが、できるだけ保育に支障のないようにと考えております。
(法人)

(ク) 看護師の配置についての考え方

- ・看護師の常駐での配置をお願いしたいのですが、配置の考え方について教えてください。

A14 ・看護師は常駐での配置を予定しております。
(法人)

(ケ) その他

- ・駐車場は作られますか？あるととても便利です。
- ・親である私自身大宮で今まで育っていますが、正直なところ白藤学園と地域の関わりも無く、良い評判を聞いたことがないので心配です。
- ・高校生や専門学校生の実習にばかり使用されないことを願います。

A15 ・駐車場につきましては、確保に向けて調整中ですが、今後アンケート等で利用希望者数を確認しながら引き続き進めてまいります。
(法人)
・職業体験や保育実習では、担当が一人ひとりの実習生に保育を語りながら指導をしてまいります。実習は、子どもたちの未来を育てる保育士の育成にとって大変重要で、そこから大きな学びを得ていくものと考えております。社会人としてのマナーも伝えながら、子どもたちと楽しい遊びを展開できる力を育てていきたいと考えております。